

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

(科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2009年 1月 1日～ 2025年 12月 31日の期間に当院にて手術を受けられた患者さん			
② 研究課題名	最近16年間の当院での術中大量出血の原因および転帰の検討			
③ 実施予定期間	2025年 12月～ 2027年 3月			
④ 実施機関	NHO 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	讃岐 美智義	所属	呉医療センター 麻酔科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	讃岐 美智義	所属	呉医療センター 麻酔科
⑦ 使用する試料	<p>以下の診療情報を、自動麻酔記録システムおよび電子カルテから収集します。</p> <p>患者背景情報： 年齢、性別、身長、体重、BMI、ASA 身体状態分類、既往歴、術前内服薬（特に抗血栓薬）、術前検査値（ヘモグロビン値、血小板数、凝固機能検査値など）</p> <p>手術および麻酔関連情報： 診療科、診断名、術式（予定手術/緊急手術、開腹/開胸/内視鏡/ロボット支援手術の別）、手術時間、麻酔時間、術中体位、麻酔記録データ（バイタルサイン：心拍数、血圧、経皮的酸素飽和度、呼気終末二酸化炭素分圧、呼吸数、脳波など）</p> <p>出血および循環管理に関する情報： 術中総出血量、出血発生のタイミング、術中輸液量（晶質液・膠質液の種類と量）、輸血の種類と量（赤血球製剤、新鮮凍結血漿、血小板製剤）、血管作動薬の使用状況、循環動態の推移</p> <p>転帰に関する情報： 術後 ICU 入室の有無、ICU 在室日数、院内在院日数、再手術の有無と術式、院内死亡の有無、退院時転帰</p> <p>※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。</p> <p>診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。</p>			
⑧ 目的	最近16年間に当院で発生した術中大量出血（術中出血量 500mL 以上と定義）の発生状況、原因、患者背景因子、および転帰を明らかにすることで、今後の周術期管理におけるリスク評価の精度向上と、より効果的な大量出血への対応策の策定に資することを目的とします。			
⑨ 方法	<p>電子カルテおよび自動麻酔記録システムから上記の診療情報を収集し、以下の分析を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 術中大量出血の発生頻度の算出 大量出血の原因の分類（手術部位別、術式別、患者要因別など） 大量出血に関する患者背景因子およびリスク因子の分析 大量出血症例の転帰（入院期間、再手術の有無、死亡の有無など）の分析 周術期管理における対応策の検討 <p>分析結果は、学会発表および医学論文として公表する予定です。</p>			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025年 12月 19日	

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

(科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合わせ先にご連絡ください。

	院長承認日	2025年12月19日
⑪公表	個人情報は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。	
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。	
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。	
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。	
⑮問い合わせ	連絡先 国立病院機構呉医療センター	講岐 美智義 田中 萌子 電話 0823-22-3111(代表) 麻酔科

呉医療センター院長